

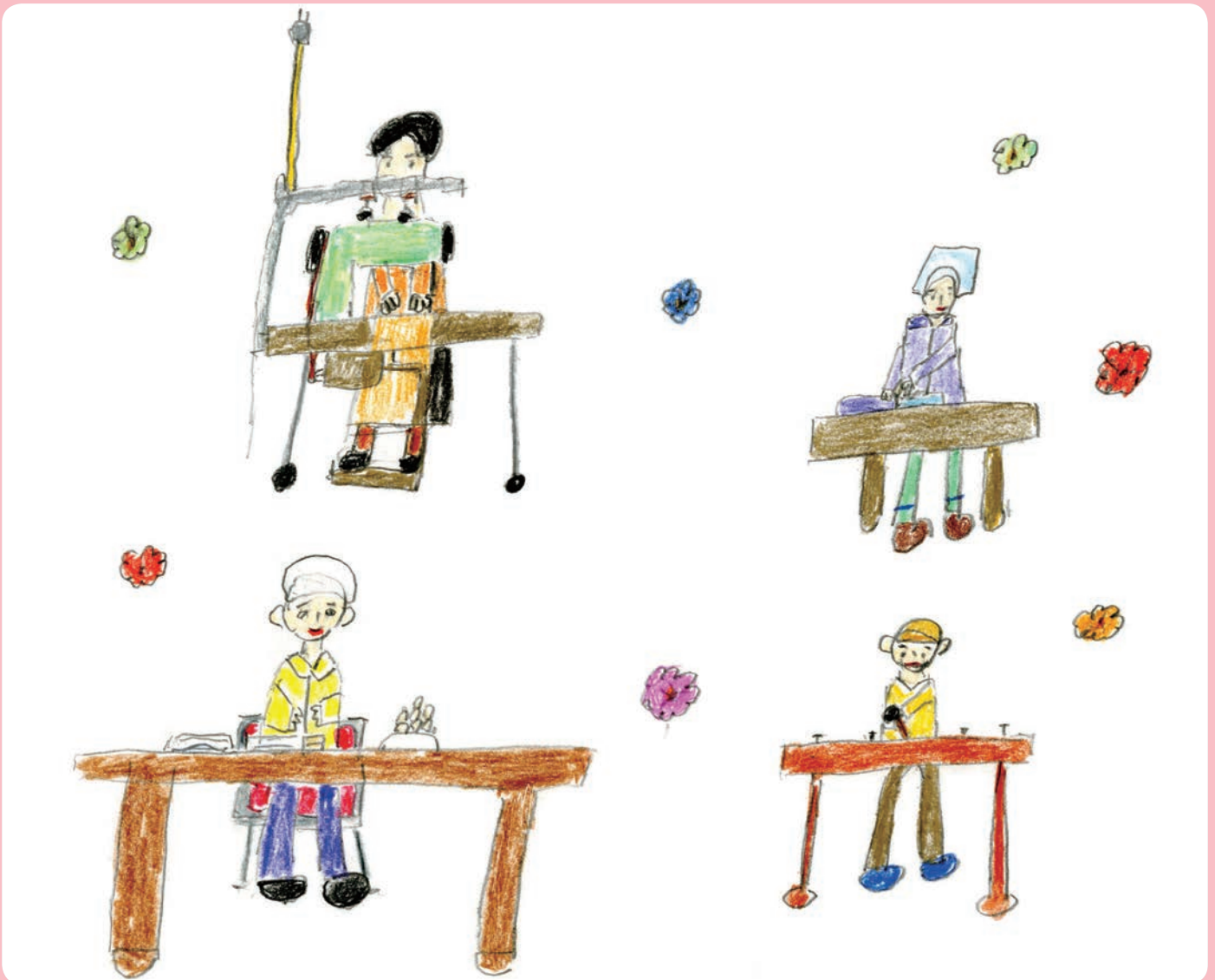
工芸会

聴覚・言語障害者の皆様が
はたらき、生活する施設

Work Center

たより

Vol.55



～利用者の方と共に～



理事長
中島政憲

早いものでいよいよ4月から、平成25年度が始まります。

さて平成24年度の工芸ワークセンターの事業を振り返ってみると、利用者の皆さんの真面目な活動と努力、職員の皆さんの熱心な指導と活躍によって事故無く順調に仕事が進んだことを心から喜んでいきます。

また、ワークセンター運営上、利用者の定員を維持することとは極めて重要な事です。お陰さまでワークセンターでは、国の基準の範囲内で入所者数は2人超となっています。これも日頃から地道に関係者への働きかけに取り組んできたことによる成果であると思います。

ワークセンターにおいては、利用者の皆さんの日常生活を充実させ楽しく過ごせるよう、単調にならないように配慮と工夫を凝らしていることをしみじみ感じました。

特に、

昨年 6月1日

野外活動での熊本城見学旅行

8月13日 納涼バスハイク
10月18日～19日

社会見学旅行(岡山方面)

今年 1月2日 初詣

について、私にとりまして強く印象に残る出来事でした。8月13日の納涼バスハイクと1月2日の初詣は、益・正月にワークセンターに残られた利用者の皆さんを楽しく過ごしてもらって心温まる嬉しい配慮であります。社会見学旅行の岡山の旅館での大広間の夕食会は正に壮観でした。

単調になりがちな集団生活にいろいろな催しがあることは利用者の方々にやる気と元気を与えることになるものと思います。

工芸会ワークセンターは措置制度から支援費制度、更には契約制度へと大きな障害者福祉制度の変化を無事に乗り越えてきました。今後も変化の時代は続くと思いますが福祉の後退は許されません。自信を持って障害者福祉の充実のため頑張られませうお願いします。

私は、本年4月1日に理事長を退任いたします。2年間お世話になりました。本当にありがとうございました。皆さんの御健勝とご活躍を心から祈念し、お別れの言葉といたします。

◆障害者施策の動向◆

平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、すべての障害者施設が平成24年3月までに新事業体系に移行しなければならぬとされました。そのような中、工芸会ワークセンターにおいても平成22年4月に新事業体系に移行しました。

障害者自立支援法は、これまで利用者負担の軽減等幾度となく改正がおこなわれ、最終的には障害者自立支援法を廃止する方向が打ち出され利用者の方々が大きい期待を背負い、障がい者制度改革推進会議において新しい法律作成に向けて議論がなされてきましたが、結局はこれまでの法律を改正するに留め、名前を変更するだけのものになりました。

いよいよ平成25年度を目の前にし、4月から「障害者総合支援法」(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)が施行されます。主な改正点としては、①「制度の谷間のない支援」を提供する観点から、障害者の定義に難病などを加えること。(平成25年4月施行)②障害程度区分を、必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す障害支援

区分に変更すること。(平成26年4月施行)③重度訪問介護の対象を拡大することや、ケアホームをグループホームに一元化すること(平成26年4月施行)などが盛り込まれております。今後、法律に沿った施設内でも必要な整備を行っていく予定です。

その他、利用者の方に関わる法律案の成立、改正等が行われておりますのでお知らせいたします。(竹下)

○「改正障害者基本法」(障害者基本法の一部を改正する法律(平成23年8月5日施行))

○障害者虐待防止法(平成24年10月1日施行)

○障害者優先調達推進法(平成25年4月1日施行)

○差別禁止法(仮称)(平成25年度法案提出予定)

表紙紹介

今回は「工芸会のお仕事をテーマに描画して頂きました。今回の画家は、なごみの松原克己さんです。ミシンをかける様子が上手に表現されています。ありがとうございます。



平成二十四年度の社会見学旅行は、十月十八日～十九日の一泊二日で岡山方面へ行きました。今回は、久しぶりに全員同じコースで総勢120人での大移動でした。昨

いざ岡山へ 社会見学旅行



年に引き続き新幹線を使用しての旅行でしたが、人数が多い事もあり乗降に時間を要しました。しかしながら、車内は快適であり駅弁も美味しく、利用者の皆様はとも喜んでおられました。岡山駅に着くとバスに乗り替え倉敷美観地区を散策しました。大原美術館では、モネやゴッガン等の有名な画家の素晴らしい作品を観賞しました。また古い町並みを見たり、名物のきび団子を食べたり、お土産も沢山買って皆様はとも楽しめました。宿泊地は、湯郷温泉でした。工芸会とは違う広い温泉にゆつくりと気持ちよさそつに入っておられました。宴会では安来節や二人羽織やひげダンス、最後はジャンケンゲームとビンゴゲームで盛り上がりました。日頃の疲れを忘れて楽しんでおられる皆様の様子を見て安心しました。翌日は晴天の下、ドイツの森へ行き美しい景色を見たり、昼食はパーベキューを楽しみ、買い物もとても満足されていきました。一泊二日の慌ただしい日程でしたが、利用者の方と共に過ごし普段は見られない姿に接し、改めて支援の大切さを感じました。来年も社会見学旅行で、皆様の楽しい思い出作りのお手伝いが出たら、と思っています。



(西崎)

まつり

平成二十四年十一月十八日(日)第二十二回工芸会ワークセンターまつりを行いました。少々肌寒かった天候の中でしたが、入場者は1200人を超し、大変盛り上がりしました。私は模擬店の担当でしたが、品切れが続出する賑わいで、ボランティアの方と一緒に利用者も皆笑顔で頑張っていました。

ステージでは、福岡舞鶴高校・附属中学校吹奏楽部による演奏やマジシャンOGAWAによるマジックショー、ライジング福岡RFCによるチアダンスショーで盛り上がり、体育館では、トイレットペーパーの格安即売会とバ



ザー製品販売。その他、福岡舞鶴高校茶道部によるお茶会、協力施設による製品販売会、保護者会による豚汁、いもほり大会等々、大変盛り上がりしました。職員と利用者、保護者で力を合せてまつりの基礎をつくりましたが、数多くのボランティアの方々との協力のありがたさを改めて実感したまつりでした。

後援いただきました福岡鴻臚館ライオンズクラブの皆様、又ボランティアを頂きました方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(山口)



クリスマス会

自治会長 松本 義則

平成24年度クリスマス会は、12月19日(水)11時45分より14時40分まで行いました。

クリスマス会を開催するまで、12月4日頃よりクリスマスツリーの飾り付けをしました。皆さんと一緒に力を合わせて準備しました。前日には、机やイスをならべたりとても忙しかったです。

クリスマス会は、おいしい料理が沢山ありました。今年もマジシャンOGAWAのマジックショーが行われ、とても上手でびっくりしました。



最後にサンタクロースさんよりプレゼントを頂き、とても楽しい一時を過ごす事が出来ました。皆さんお手伝いありがとうございました。





今回の年末年始休暇は土曜日、日曜日を含めて9日間と長い休みでした。皆さんそれぞれに新年を迎えられ、1月7日に食堂で新年会を行いました。新年会では、利用者・役員一緒におせち料理や寄せ鍋をお腹一杯に頂きました。寄せ鍋には、昨年の末に工芸会で頂いた餅も入り、舌ざわりが

良く本当においしかったです。また余興では、割箸とペックトボトルを使ったおみくじゲームや、空缶タワー競争、恒例のジャンケンゲームを行い大変盛り上がりしました。この日は5名の方が帰省中で参加出来ず残念でしたが、参加された方の元気な姿を見て安心しました。今年1年間、体に気をつけて、楽しい事や笑顔がたくさんあるようがんばりましょう。
(谷口)



新年会

もちつき

縫製係 三森 道子

12月27日木曜日、朝からかまどに火をつけて、お湯を沸かし、もち米をむして準備をしました。お昼よりももちつきをはじめました。



私は、きねとうすでもちをつかないで、もちを丸めて数を数えました。丸める時は、自分の洋服にかたくり粉がついて、白くなりました。おわりに、ぜんざいにもちを入れて皆さん一緒に食べました。とてもおいしかったです。



平成24年度 苦情解決第三者委員会開催



二月四日(月)に、平成二十四年度 苦情解決第三者委員会が工芸会ワークセンター多目的ホールで開催されました。出席者は、苦情解決第三者委員会をはじめ、法人役員、工芸会ワークセンター 苦情解決責任者である竹田施設長、苦情受付担当者小原施設長補佐。田尻苑からは、苦情解決責任者である喜代美施設長、苦情受付担当者の嘉村生活部長が出席を致しました。

はじめに、福祉サービスに関する苦情解決規則、苦情・要望を申し出る流れについての説明が行われ、次に工芸会ワークセンターにおける、平成二十四年度苦情ボックスに寄せられた不満一件について、その内容と解決にいたるまでの経過について報告が行われました。

工芸会ワークセンターの苦情ボックスに寄せられた不満の内容については、利用者間のトラブルに関するものであり、苦情ボックスに投函された文面の内容が解読できない内容だったため、苦情受付担当者が事実確認を行ったことなどを説明、面接調査においても主訴がはっきりせず、本人の主張があいまいで事実確認ができなかったため、最終した旨の報告がなされました。

第三者委員会からの講評では、「共同生活の中ではお互いの感情の問題というのはどうしても発生してしまうものである。職員としては相互の心理をよくつかんで対処することが大切ではないだろうか」等と言ったご指導を頂きました。

第三者委員会からご指導頂いた点につきまして、今後も利用者の方々にとってより良い施設となるよう役立てていきたいと思います。
(小原)

健康栄養指導



毎月、第二火曜日にBMI数値が高めの利用者の方を対象に健康栄養指導を行っています。実際に、ジュースに含まれる砂糖の量を見てもらったり、風邪予防に必要な食事のとり方、食べ物の働きについてなど話をしました。毎月、どんなテーマにしようか？媒体はどうしようか？利用者の方へ伝わるだろうかと思いがちに行っています。

利用者の方々が、健康で楽しく生活できるような健康栄養に関する情報をお知らせしていきたいと思えます。

(栄養士 竹下)



公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団様より 車輜購入助成



工芸会ワークセンターの車で、病院送迎用や行事の引率に使用していたハイエース10人乗りが、使用から12年になり、錆や劣化が激しく今回買い替えを致しました。

買い替えにあたり、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より購入助成を頂く事が出来ました。助成をいただいた車輜は日産キャラバンの10人乗りで、後部座席には大きな手すりが付いた福祉車輜です。新型という事もあり、利用者の皆さんの人気上々!! 中央競馬馬主社会福祉財団様ありがとうございました。大事に使わせていただきます。



心の癒し

施設長 竹田 豊

施設という集団の中での生活では、自分の思いどおりにならないとストレスがたまってくる場合があります。集団生活では、取り決めを皆が守る必要がありますが、それがきついつと感じることもあるのではないのでしょうか。現代社会においては、ストレスは避けて通れない問題だといわれています。



そのストレスの解消に、施設では宿泊を伴う社会見学旅行や日帰りの野外活動、あるいは隔週の買い物支援や毎月の誕生会など各種の行事を企画し実施しています。

利用者の皆さんは、これらの行事に参加することを楽しみにしておられ、次はいつか、どこにいくのかなどよくたずねられます。

一方、利用者の皆さんはそれぞれ何かをしてストレス解消し、心を癒しています。Aさんは、毎日ロビーにある時計の時刻合わせを依頼してこられます。私が時刻を合わせるとうれしそうな顔をされて、また明日と行って作業に戻られます。

Bさんは、毎日ふれあいコーナーや廊下などを掃除機できれいにされています。毎日ありがたいという、はにかんでうれしそうな顔をされます。

Cさんは、トイレの床に水をまいてきれいに掃除されます。

ただ、水をまきすぎてビチャビチャになって他の利用者から怒られることもあります。

好きなこと、あるいは思い入れがあることを実行することがストレス解消になり、心の癒しになります。これからも、主催行事については職員一同知恵を出し合い、創意工夫あふれる企画を実行する一方、利用者の皆さんの思い入れなど心の癒しを支援していきたいと考えています。



開苑20周年

社会福祉法人福岡ろうあ福祉会設立（当時・福岡県盲啞教育慈善会）は、明治42年に開設以来、聴覚障害者への就業支援、社会的自立を促進してまいりました。一世紀の歴史と歲月の中で、工芸会ワークセンターに入所されている方の高齢化に対応すべく、養護老人ホーム田尻苑は、全国3番目、九州で初の聴覚・言語障害者専用養護老人ホームとして、平成4年4月1日開苑しました。定員50名ですべての方が聴覚・言語障害者をお持ちです。また盲・ろうあ

の重複障害の方も数名入所されています。出身地としては、工芸会ワークセンターを退所された方、九州・山口各県、四国、遠方では関東からも入所されています。田尻苑の生活は四季折々にあつた年間行事、趣味を伸ばすクラブ活動を行っております。主なクラブ活動として、書道、ペン字、絵手紙、園芸、手話ダンス、フラダンス、生け花、ヨガ、絵画ほか、多数にわたります。また健康増進を目的として、朝9時にラジオ体操、11時に歩行運動、15時にみんなの体操を取り入れ



絵画

ています。今年度より新たな取り組みとして、聴覚障害者への情報保障として、時事問題、新聞・ニュース、身近な話題などを職員が手話を使って利用者様にお伝えする時間を毎日設けています。「伝わる手話」「伝える手話」として、手話表現が難しい医療用語や栄養素、四季の食材などを解りやすい絵や図を使い解説し、栄養士による栄養教室、看護師による健康教室を毎月1回行っております。養護老人ホーム田尻苑では「健康」（げんき）「友愛」（仲よく）「教養」（楽しく）「交流」（地域とも親しく）「感謝」（ありがとう）をモットーに高齢聴覚障害者の



栄養教室

生活相談員 甲斐 顕一

聴覚・言語障害者 養護老人ホーム田尻苑

法人施設紹介



利用者旅行

よりよい生活を目指し職員一丸となり頑張っております。施設見学、入所に関するご相談等は随時行っております。ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

★お問合わせ先★

養護老人ホーム田尻苑

電話 092-807-4448

FAX 092-807-4457



4月

○お花見



5月

○工芸会ワークセンター
移転開設記念日
○第1回健康診断

6月

○野外活動
○夜間避難訓練
○夕食会



7月

○夕涼み会
○七夕



8月

○納涼バスハイク
※お盆休暇在寮者対象

9月

○工芸会・田尻苑
合同レクリエーション大会

10月

○福岡市障がい者
スポーツ大会
○社会見学旅行

11月

○工芸会ワークセンター
まつり
○第2回健康診断
○夜間避難訓練
○夕食会

12月

○障がい者週間
バイキング昼食会
○クリスマス会
○もちつき



1月

○初詣
※年末年始休暇在寮者対象
○新年会
○鏡開き

2月

○節分(豆まき)
○針供養



3月

○ひなまつり
○総合防災訓練
○夕食会



毎月の定例行事

○誕生会
○健康増進運動(毎週)
○買物支援(月2回)
○休日支援(散策、散髪、
自活訓練、環境美化)
○避難訓練
○クラブ活動
○懇談の日(月2回)

利用者入退所状況

退所

平成24年4月27日付
吉田 達哉さん
平成24年8月31日付
大倉 静生さん
平成25年2月28日付
福田 良章さん
平成25年3月15日付
大浦チサコさん
入所利用
平成25年1月21日付
園田 清さん

職員表彰

●全国社会就労セン
ター協議会会長表彰
サービス管理責任者
末吉 智美
木工係主任
長田 盛隆

●九州社会福祉協議会
連合会会長表彰

●福岡市社会福祉協議
会会長感謝状

介護主任 稲吉 哲
軽作業係生活支援員
長束耕太郎

職員紹介

採用

生活支援員
福澤 義孝
抱負
第2の人生としてお世話
になることにしました。
主体性を持って楽しく働
く所存です。



編集後記

歌は演歌が一番と
思っている私は、最近
の曲にあまり興味はな
い。しかし何回も耳に
して記憶してしまった
曲に、いきものがかり
の風が吹いているとい
う曲がある。風は時に
追い風となり、また逆
風となる事もある。今
の時代はどうだろう？
今の時代は逆風の時か
もしれない。
そんな時、目標をも
ち歩むべき道を粘り強
く進まねばならない。
きつと追い風の吹く日
を信じて。新芽の力強
さを感じる今日この頃
である。

工芸会ワークセンターたより Vol.55

発行

〒819-0383

福岡市西区田尻2542

社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
障害者支援施設

工芸会ワークセンター

TEL 092-806-7774

FAX 092-806-8962

E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp

URL http://www.kougeikai.or.jp

